

事例

NO. 08

カケコー生が雲南市活性化プランを考えてみた

活動テーマ / SDGsゴール



島根県立三刀屋高等学校 掛合分校

活動内容

各教室にペレットストーブがある、県内では珍しい高校です。3年生は二学期に「雲南市のファンを増やそうプロジェクト2020」に取り組み、瑞々しいアイデアを発表しました。滝を自転車で巡るサイクリングコースを考えたり、卵の殻を原料に親世代のガーデニングの肥料を作れないか？また、若者向けの漬物や高価格の漬物を考えたり、地元でしか作付けされていない作物でピザやアイスクリームを試作したり、オロチ伝説や流石の刀で関係人口を呼び込もうとしたりしました。地域の魅力を知り、それらを活かし、町の活性化、関係人口の創出につながる取組は、実践力を培い生徒たちの未来につながるでしょう。



各教室に置かれたペレットストーブ



活性化プラン発表内容

check 活動ポイント

高校生ともなると、とかく脱炭素社会の実現に懐疑的になり、協力できることは少ないと認識してしまいがちです。地元の行政・企業が行っている脱炭素取組や具体的な削減方法を伝えることにより、生徒に「意識が変わると実現可能ではないか」「一見関係ないものも繋がっている」と前向きに希望を持ってもらえます。例えば、ペレットの県内調達など、身近な対策が進むよう期待します。 SDGsの幅広い問題を勉強



活動団体 DATA

活動団体名：
 島根県立三刀屋高等学校 掛合分校
 住所：島根県雲南市掛合町掛合 3601
 電話：0854-62-0084
 URL：<https://www.shimanet.ed.jp/kakeya/>